

【 8 月 】
★集まれ！ジュニアレンジャー

森の中に隠された謎を解きながら、仲間といっしょに森をつきすずめ！緑森について知りつくそう！
日時 8月6日(土) 10:00-15:00
対象 小学生 定員 20名
参加費 100円(保険代) 要申込

【 9 月 】
◎親子の自然観察会

鳴く虫をさがしてみよう。屋間でもいろいろな虫たちが鳴き声をきかせてくれますよ。

日時 9月17日(土) 9:30-12:00
対象 小学生と保護者 定員 20名
参加費 100円(保険代) 要申込

■食育体験教室「畑で作物を作ってみよう」

畑で野菜を作ることから食べ物を作る大変さ、食べ物の大切さを学べる体験教室です。現在、企画調整中のため、詳細が決定次第、ホームページ上でご案内いたします。9月末頃から毎月1回、3月末までを予定しています。お楽しみに！

◎親子のわくわく自然探検

森の中の涼しい場所はど〜こだ？いろいろな方法で「すずしい遊び」を楽しもう！

日時 8月28日(日) 10:00-12:00
対象 小学生と保護者 定員 20名
参加費 100円(保険代) 要申込

◎親子のわくわく自然探検

いろいろな草木がタネをつける頃。どんなタネが見つかるかな？見つけたタネで遊んでみましょう。

日時 9月18日(日) 10:00-12:00
対象 小学生と保護者 定員 20名
参加費 100円(保険代) 要申込

★イベントのお問い合わせ・申し込み★

電話(TEL 04-2934-4396)で博物館までご連絡ください。また、公式ホームページからお申し込みできるようになりました。イベント内容等の詳細は、お気軽にお問い合わせください。みなさんのお申込みお待ちしております！

スタッフコラム

さまざまな得意分野を持つ緑森スタッフの面々、この「スタッフコラム」では、そんなスタッフたちの視線の先をご紹介します。今号は、きんちゃん担当です。

「あの大きな声の鳥は何ですか？」緑森で最もよく質問される鳥が「ガビチョウ」です。ガビチョウは中国原産の外来種。ここ3年ほどの間に緑森でも数が増えた印象です。鳴き声が大い上、他の鳥の物まねも得意で、「ホイホイホイ」(サンコウチョウのまね)、「ケキョケキョ」(ウグイスのまね)など盛んに入れ込んで歌います。

6月8日、スタッフがやぶの中にガビチョウの巣を発見。お椀状の巣の中には卵が4つ。しかも美しい青緑色でした。ところが…。数日後、親鳥が巣の前でおろおろしているのを見ると、巣の卵は空っぽ。かわりにアオダイショウの顔がありました。

地面近くに巣をかけるガビチョウは、ヘビやイタチなどの天敵に巣を狙われやすいのかもしれない。また、天敵を寄せ付けると、同じやぶで繁殖する他の野鳥の巣も狙われる確率が上がる、という研究報告もあります。ガビチョウが他の野鳥に与える影響はどうなのでしょう。まだよくわかっていません。(坂本きんちゃん)



【アクセス】



開館時間 9:00~17:00 【入館無料】
休館日 月曜日、祝日の翌日(その日が祝日の場合をのぞく)
【公式HP】 <http://www.saitama-midorinomori.jp/>
指定管理者 株式会社自然教育研究センター

◆緑の森博物館の利用ルール◆

緑の森博物館では、以下の7つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

- 1) 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生き物をむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- 2) 他から持ち込んだ動植物(外来種)を放さないでください。
- 3) 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- 4) 犬などのペットを放さないでください。(フンの後始末もしっかりと行いましょう)
- 5) 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- 6) バーベキューや花火など火を使わないでください。
- 7) ゴミは持ち帰りましょう。

発行:さいたま緑の森博物館
発行年月:2011年7月
住所:〒358-0014 埼玉県入間市宮寺889-1
TEL/FAX: 04-2934-4396

さいたま緑の森博物館ニュースレターは、緑森(みどりもり)の様々な情報を年4回お届けいたします。

新スタッフの紹介

今年度から、さいたま緑の森博物館の指定管理者が変わり、(株)自然教育研究センターが運営を行っております。

当館が開園して15年目。狭山丘陵の中でも恵まれた自然環境の当館、通称『緑森』は、自然を愛する多くの人々を惹きつけてきました。

新たなメンバーで、これまで以上に多くの方が緑森に親しみ、愛着を持っていただけるよう、温かい運営を心がけてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。(現場統括責任者 長谷川勝)



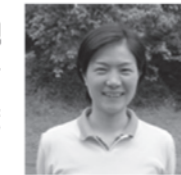
長谷川勝(まっちゃ)

頭を使うより、体を動かす方が好きな遊び担当。久しぶりに地元に戻ってきて緑森の良さを実感。



青野倫行(マイマイ)

緑森一番の若手。最近の木登りがしたいと言うが、目的は大好きなカタツムリ探しでは?との噂。



坂本 泰江(きんちゃん)

野鳥の声の聞き分けが得意。いつか案内所の屋根で鳥を見ながら昼寝しようともくろむ。



谷口 吾郎(ゴローちゃん)

石橋をたいて壊す慎重派。ハンモックに揺れながら本を読みたいと願う。主に展示デザイン担当。



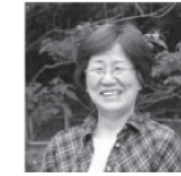
島貫 陽(もくそう)

草刈、剪定など外作業は何でもこなす。倉庫にある道具類を全て使い尽くす日も近い。



福沢 卓也(ふくちゃん)

昆虫調査担当。虫の目から自然の不思議や楽しさを伝えたいという思いで心はいっぱい。



齋場 みち子(あいばさん)

緑森に勤めて14年目。明るい笑顔でみんなを迎え、緑森への愛の深さは誰にも負けない。



八木下 潤(やぎちゃん)

見た目様心もまあるく参加者を和ませる。神出鬼没なので逢えたらラッキー。生物調査担当。

みどり森のいきもの暦

7月から9月にかけて、緑森で見られる主な植物と昆虫を紹介します。緑森を歩きながら探してみよう！生き物は観察したら逃がしてあげてくださいね♪

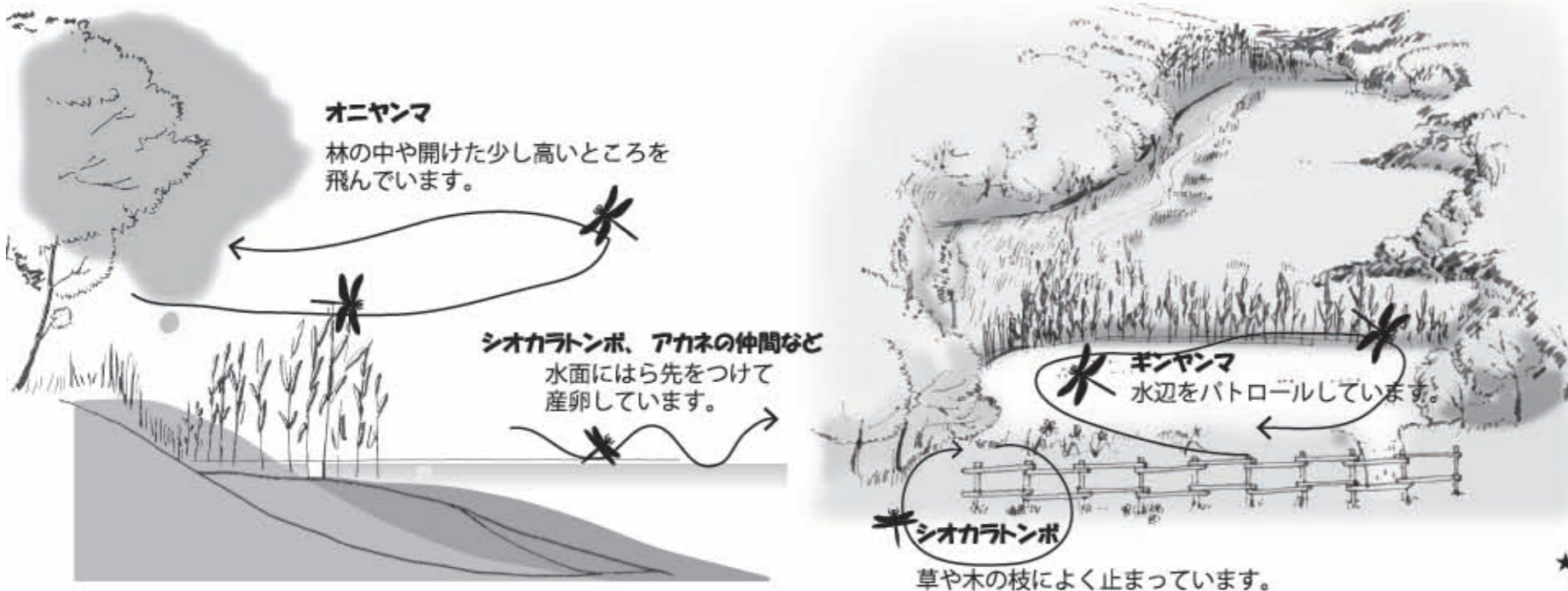
| | 7月 | 8月 | 9月 |
|----|------------------------|----------------------------------|-------------------|
| | 上 | 中 | 下旬 |
| 植物 | ヤブカンソウ | オトギリソウ ヌマトラノオ | ツリフネソウ |
| 昆虫 | タマムシ ニイニイゼミ ヒグラシ | ウバユリ ワレモコウ アブラゼミ ミンミンゼミ | キンミスヒキ ツクツクボウシ |
| | | | ヌスビトハギ |

特集 おおやとしち 大谷戸湿地のトンボたち

さいたま緑の森博物館には、谷戸(やと)と呼ばれる、山と山にかこまれた地形があります。谷戸には、山から水がしみだし、湿地や小川などの環境が作り出されています。谷戸には、多くの生き物が生息していますが、なかでもトンボは夏の谷戸の水辺を代表する生き物です。案内所のすぐとなりにある「大谷戸湿地」では、様々な種類のトンボを見つけることができます。今号の特集では、少しだけですがトンボの観察ポイントや見分け方をご紹介します！

トンボの観察ポイント① どんな場所で見つけられるかな？

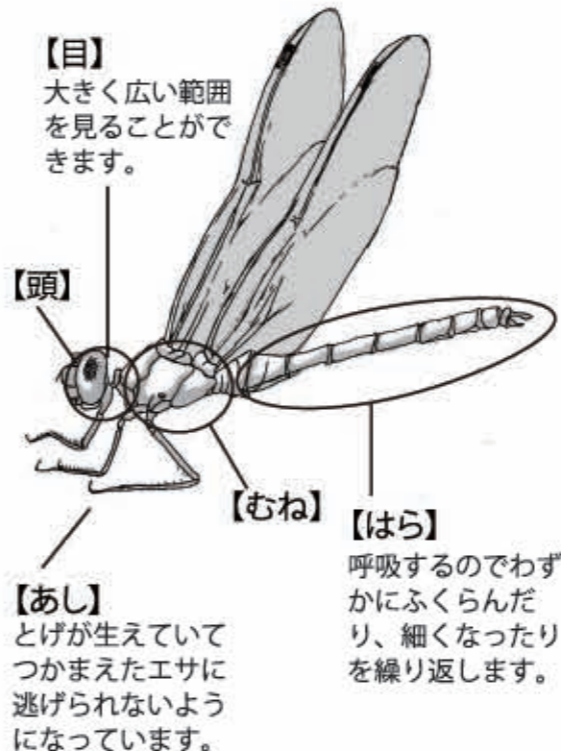
トンボは種類によって色々な飛び方をしています。どこで、どんなトンボを見つけられるかな？



トンボの観察ポイント② 体のつくりは？

トンボの体のつくりをよく見てみよう。

・体は「頭」、「むね」、「はら」に分かれ「むね」には6本の「あし」と4枚の「はね」が生えています。



★ここで紹介した見分け方はごく一部です。くわしく調べたい方は案内所スタッフに声をかけてください。

トンボの観察ポイント③ 大きさに見分けてみよう！

大きさにどのトンボの仲間か分かるよ。

大きいトンボ
クロスジギンヤンマ
ギンヤンマ
ミルンヤンマ
オニヤンマ
エソトンボ

中ぐらいのトンボ
ハラビロトンボ
シオカラトンボ
シオヤトンボ
オオシオカラトンボ
ウスバキトンボ
コノシメトンボ
マユタテアカネ
アキアカネ
ヒメアカネ

細いトンボ
クロイトトンボ
アジアイトトンボ
ホソミオツネントンボ



【参考文献】石田 昇三、「日本産トンボ幼虫・成虫検索図説」東海大学出版会、1988年

トンボの観察ポイント④ じっくり調べてみよう！

もしも近くで見られたり、捕まえられたら、体のつくりの違いを比べてみよう！ただし観察したら逃がしてあげてね。もし、わからないトンボを見つけたら、案内所のスタッフにきいてね。

大きいトンボの見分け方は？

①頭を正面から見ると目はどのような形をしているかな？

目と目が少しだけつながる 目と目がぴったりつながる



②むねを横から見た時のもようはどんなかな？



オスは青・メスは黄色のトンボの見分け方は？

①はねの形はどうなっているかな？

はねのつけ根が広がる はねのつけ根は広がらない

②はねに色はついているかな？



③むねを横から見た時のもようはどんなかな？



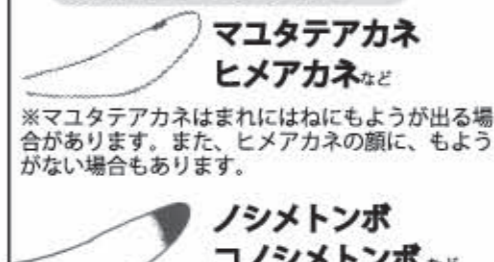
赤トンボの見分け方は？

①頭を正面から見ると顔のもようはどんなかな？

顔にもようが入っている 顔にもようが入っていない



②はねのもようは？



②むねのもようは？

